



戦略Ⅲ 地域共創による価値創造と成長

主要課題

快適で持続可能なまちづくり、地域経済の活性化



昨今の地域課題は、多様化・深刻化しており、企業や自治体などそれぞれ単独の知見・取組みでは解決が困難です。効果的な課題の解決に向けては、自治体・企業・市民の皆さまと「共創」して取り組むことが重要と考えています。

地域とともに持続的に成長していくために、地域課題の解決(=社会価値の向上)を当社グループにとってのビジネスチャンス(=経済価値の向上)と捉え、地域と当社グループ双方がWIN-WINになることを志向して、九州の強みを活かした地域共創の取組みを推進していきます。



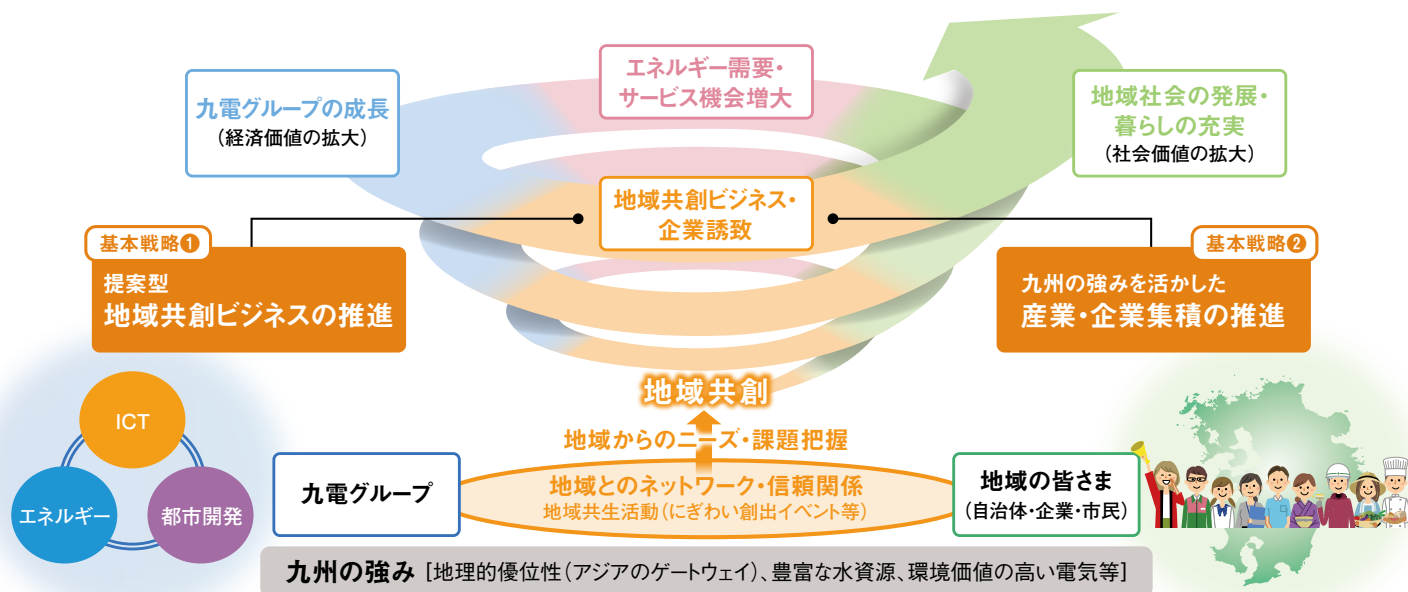
みらいサーモンの循環式陸上養殖・イチゴの栽培実証

地域社会と九電グループ双方の更なる成長・発展に向けた取組み

九州の地場企業として、地域ニーズ・課題の把握・解決に向け、幅広い専門力と地域のネットワーク・信頼関係をベースに、地域共創ビジネスを推進します。また、九州の強みを活かし、データセンターや半導体産業をはじめとした企業の誘致を推進します。

地域社会の発展と暮らしの充実を図り、エネルギー需要やサービス機会を増大させることにより、九電グループの成長につなげていきます。そして、地域共創の取組みを更に充実していくことで、地域とともに持続的に成長していきます。

地域とともに持続的に成長



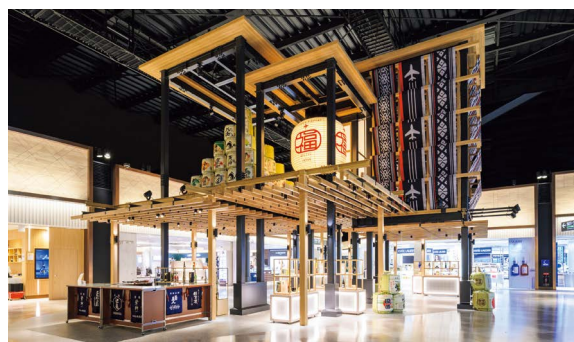
都市開発事業を通じた地域・社会の発展への貢献

九電グループは、都市開発事業を通じ、地域のにぎわい創出や交流人口の拡大等の地域活性化に取り組んでいます。

空港運営事業では、2025年3月、福岡空港の滑走路増設に併せ、国際線旅客ターミナルビルがグランドオープンしたほか、熊本空港においては、2024年10月、飛行機を利用する方に限らず、全ての来訪者が楽しく利用できる地域にひらかれた施設(広場・飲食・物販等)「そらよかエリア」が開業。施設の拡充や航空ネットワークの充実などを通じて交流人口の拡大を図っていきます。

物流施設事業では、多様化する物流需要に応えるため、2024年8月、福岡県糟屋郡でマルチテナント型物流施設「ロジポート福岡粕屋」が竣工しました。

今後も、人々の生活や産業活動に必要な不可欠な施設を開発していきます。



福岡空港国際線旅客ターミナルビル(新免税店エリア)

地域・社会課題解決に向けたICTサービス

九電ドローンサービス

九州電力は、「九電ドローンサービス(株)」を設立し、ドローンを活用した空撮・点検・測量などを全国で展開しています。人の立ち入りが難しい危険な場所のドローンによる点検や、高齢化・人手不足が課題の農林業におけるドローン農薬散布・AIデータ分析等、さまざまなサービスを揃えています。

KDDIスマートドローン(株)と業務提携するなど、協業パートナーの拡大を推進し、全国の企業や自治体が、災害発生時等においても高度なドローンサービスを導入いただけるよう展開していきます。



ドローンによる農薬散布の様子

地域情報プラットフォーム

九州電力は、SBIホールディングス(株)及び(株)筑邦銀行と共同で設立した「(株)まちのわホールディングス」にて、デジタル地域通貨(商品券)のプラットフォームを展開し、これまでに九州内外120以上の地域にアプリを提供しています。

2024年4月から開始した「まちのわふるさと納税」では、ゴルフ、ホテルなど現地消費型のレジャー体験を返礼品とするデジタル券の発行に注力しています。地域の魅力再発見に繋がる体験の開発にも取り組んでいきます。



まちのわふるさと納税アプリ画面

資源循環型社会の実現に向けた取組み(サーキュラーパーク九州構想)

旧川内火力発電所跡地を資源循環の拠点と位置づけ、脱炭素化の推進による持続可能な社会を目指す「サーキュラーパーク九州構想」を公表し、「資源循環(高次元の再資源化)」「知の集積(産官学の知見共有)」などの機能実現に向けた取組みを推進しています。この構想実現に向けた中核的取組みとして、サーキュラーパーク九州(株)を設立し、2024年4月より本格操業を開始しています。

同社では、企業や地域から排出される廃棄物を高いレベルで再資源化するとともに、今後、大量廃棄が予測されている太陽光パネルの資源循環モデルの構築や、鹿児島大学・薩摩川内市と連携したプラスチック製品のケミカルリサイクル実証事業など、資源循環に関する社会課題の解決にも取り組んでいます。



サーキュラーパーク九州構想(将来イメージ)

地域の皆さまと協働した取組み

ボランティア活動

九電グループの持つノウハウや人的リソースを活用し、地域のお困りごとの解決につながる様々なボランティア活動に、九州各地で取り組んでいます。

このうち、NPOや地域の方々との協働で環境保全やお年寄り・子どもにやさしい社会づくりへつながるボランティア活動「こらぼらQでん」は、2024年度に50件の活動を行い、協働先を含めて延べ4,140名が参加しました。



こいのぼり掲揚活動(宮崎)

地域を盛り上げる活動

地域を盛り上げ、地域の皆さまとの交流を深めるため、九電グループの社員は地域のまつりやイベントへ参加しています。

2024年度は、延べ2,578名の社員が地域のまつりに参加しました。これらの活動については、九電グループ社員が地域の皆さまと活動する姿をSNS等を通じて紹介しています。



大村夏越まつり(長崎)



ショート動画
「九電グループ社員
もうひとつの顔」
はこちら

TOPICS 九州地域の発展につながる産業・企業集積の推進

人口減少、少子高齢化等を背景にした、九州内の産業衰退、若年層の流出・コミュニティの縮小などの地域課題解決に向けて、九州地域の活性化につながる産業・企業集積の取組みをそれぞれ行っています。

九州電力の取組み

自治体と協働して、九州への進出を検討されている企業向けのフォーラムへの出展や、セミナーでの講演を東京で実施しています。脱炭素電源の立地等九州の強みを自治体とともにPRしています。



九州電力送配電の取組み

九州電力送配電では、独自の取組みとして、行為規制に留意しつつ、日頃より自治体と連携し、産業用地や遊休地等の情報収集を行い、早期供給に向けた供給対策概要の検討や早期供給が可能な候補地の提案などを行っています。また、産業用地近傍の電力系統情報(空き容量、距離、供給開始までの工期等)をウェルカムゾーンマップで公開しています。



ウェルカム
ゾーンマップ
(九州への企業
立地のご案内)
はこちら
※九州電力送配電HP